

70th
anniversary

— 稲城市立病院70周年史 —

稲城市立病院 運営基本理念

信頼とぬくもりのある医療提供

稲城市立病院 基本方針

1. 患者の立場に立った患者中心の医療の提供

患者の権利と義務を尊重し、患者のニーズの把握に努め適正な医療を行う。

2. 安全な医療の提供

医療安全マニュアルに従って、患者の安全を最優先にして治療にあたる。

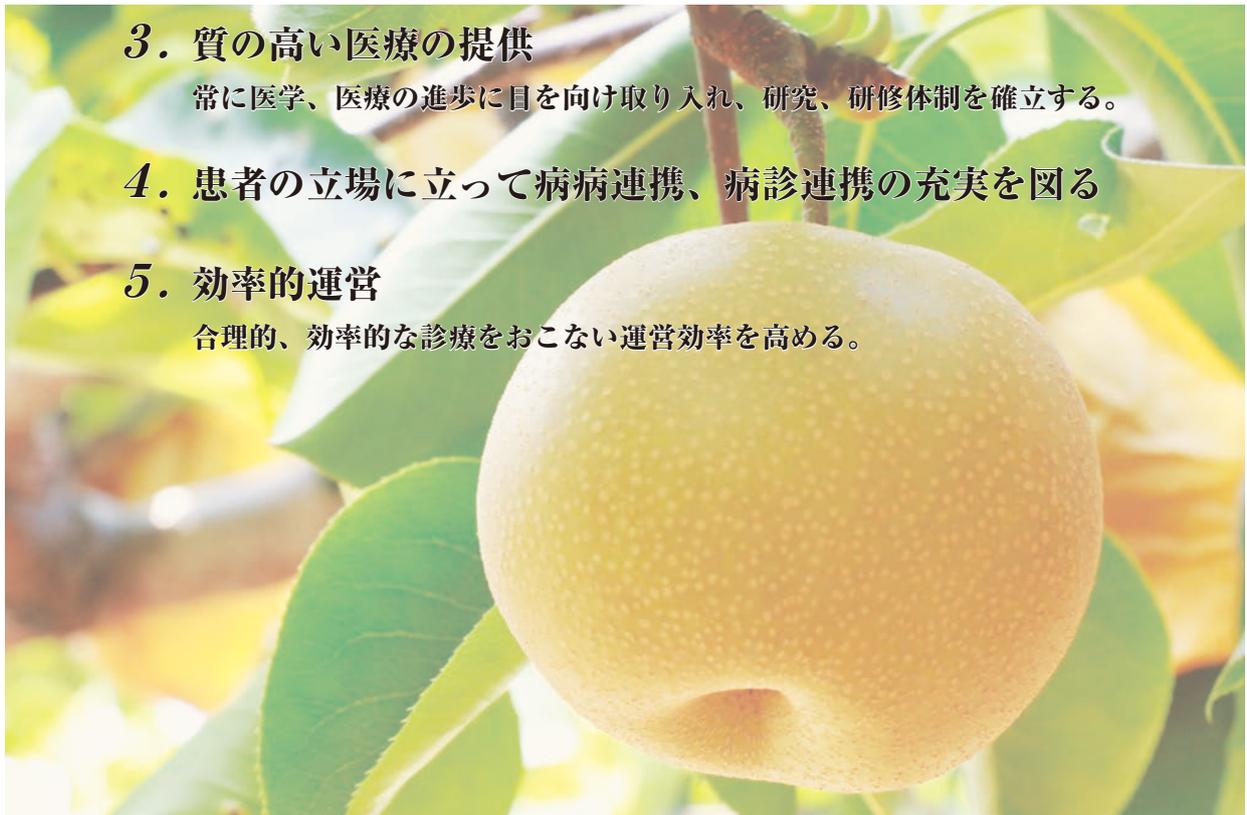
3. 質の高い医療の提供

常に医学、医療の進歩に目を向け取り入れ、研究、研修体制を確立する。

4. 患者の立場に立って病病連携、病診連携の充実を図る

5. 効率的運営

合理的、効率的な診療をおこない運営効率を高める。



目次

■ ■ ごあいさつ

稲城市立病院 開設者 稲城市長 高橋 勝浩	4
稲城市立病院 病院長 松崎 章二	5

■ ■ 病院の沿革

昭和15年～昭和23年	8
昭和24年～昭和45年	8
昭和46年～平成元年	10
平成2年～平成9年	11
平成10年～平成19年	12
平成20年～平成29年	14

■ ■ 病院の現況

概要	18
組織	19
施設案内	20
主な取り組み	24

■ ■ あゆみ

歴代幹部職員	26
統計／経営状況	27
統計／患者数	29

ごあいさつ

稲城市立病院開設者・稲城市長 高橋 勝浩

稲城市立病院病院長 松崎 章二



稲城市立病院 開設者
稲城市長
高橋 勝浩



いわゆる稲城病院は、昭和15年4月に陸軍造兵廠の多摩病院として設置され、その後運営主体が変遷を重ねながら、昭和23年に当時事務を代行していた稲城村農業会から事務及び財産管理などが村に引き継がれ、稲城村立病院として開院し、この度、70周年を迎えました。当時はまだ、診療を受ける人が少なかったため、収益が上がらず、財政的には非常に困難で、地域医療の確保や地域住民の健康増進の取り組みは、こうした困難に直面したスタートとなりました。

昭和46年には市制施行に伴い稲城市立病院となりました。その後、稲城市の発展とともに多様な地域の医療ニーズに応えながら、最新医療への対応や幾多の施設整備の充実を重ね、平成10年に現在の病棟が新築され、地下1階、地上6階の免震構造となり、緑が多く療養環境にはとても適した病院となりました。平成24年には、健診・外来棟を増築し、病院・健診センター・健康増進施設が併設されるのみならず、それぞれの部門が連携しながらサービス提供する医療・保健の総合施設となって、現在に至っています。

国では、少子化・超高齢化という大きな課題に直面している中で、自治体病院は地域医療の核として、患者中心の効率的かつ質の高い医療提供体制を構築し、地域の医療介護ニーズに的確に対応しながら、病診連携、医療介護連携を主体的に推進する役割を担うことが求められています。

このような中で、本市といたしましては、民間医療機関では対応が難しい不採算医療と言われる、小児・周産期医療、救急医療、緊急時及び災害医療などを自治体病院が担う医療として確保しつつ、地域の医療機関とも連携を図りながら、市民が求める安心で良質な医療提供に努めております。

今後とも、公立病院として市民の皆様の負託に応えられることが出来るよう、稲城市立病院改革プランの着実な推進により、さらなる経営基盤の強化と健全化を図るとともに、地域の中核病院として市民の皆様にも親しまれ、信頼される病院を目指してまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、開院70周年にあたり、稲城市立病院の発展にご尽力を賜りました関係各位の皆様にも心から感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

稲城市立病院
病院長

松崎 章二



～稲城市立病院開設70年を迎えて～

稲城市立病院が開設70年を無事迎えることが出来ましたのも、長年にわたる皆様方からのご支援並びにご協力の賜物と、お礼と感謝を申し上げます。

昭和23年（1948年）7月に稲城村健康保険組合直営稲城病院がスタートして、町市制の変更により、名称は稲城町立国民健康保険稲城中央病院、そして稲城市立病院に変わりましたが、現在は20標榜科、290床の一般急性期病院です。稲城病院の前身は昭和15年（1940年）4月に設置された東京第二陸軍造兵廠多摩製造所多摩病院ですので、78年間ここ稲城市で医療を提供しています。

稲城市立病院の変遷を振り返りますと、開設当初は一般病床15床、結核病棟147床で、国民病といわれた肺結核の治療が主流でした。肺結核が減少し、一般疾患の需要が増えると、昭和46年（1971年）2月に完成した新病院は、一般病床181床、肺結核病床47床となり、昭和58年に結核病棟は廃止されました。高度経済成長期では、急性期疾患が急増し、その対応が急務となりました。また医療技術の進歩も著しく、高度医療機器等の導入が必要となりました。病院機能の充実を図るため、平成10年（1998年）3月に現在の病院が完成し、急性期医療を提供しています。

しかし、現在の病院機能を継続することが厳しい状況に当院は直面しています。若年人口の減少と高齢者の増加に伴う疾病構造の変化により、循環器疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患などの慢性疾患が増加し、急性期機能のみならず回復期機能も必要とされます。超高齢化社会を向かえて、地域包括ケアシステム体制を構築し、高齢者の生活と医療・介護を支援しますので、医療と介護の密接な連携が必要です。人口減少による医療需要の減少に対しては、2025年度東京都地域医療構想の実現にむけて、南多摩医療圏内の医療提供体制が調整されています。そして、働き方改革によって、医療者、特に医師の仕事に対する考えは大きく変化します。当院はこれらの変化を克服しなければなりません。

このような大変動を向かえるにあたり、当院は、2019年4月に地方公営企業全部適用に移行します。職員一丸となって、この難局を乗り越え、自治体病院として稲城市の皆様へ医療を提供して参ります。今後、病院が20年、30年存続し、100周年を迎えることができるように努めますので、これからも、ご声援、宜しくお願い申し上げます。

■ 病院の沿革 ■



◆ 昭和15年～昭和23年

1940年(昭和15年)	4月	東京第二陸軍造兵廠多摩製造所多摩病院として設置
1946年(昭和21年)	2月	東京第二陸軍造兵廠多摩病院から、(財)共栄会多摩派出所に監守が委託
	6月	村は、(財)共栄会に移管を申し入れ、権限移管が決定
	8月	(財)共栄会多摩派出所が解散閉鎖 村立稲城病院設置が議決され、設置が決定 厚生省に村立病院開設申請
1948年(昭和23年)	9月	病院開設が許可 稲城村国民健康保険直営稲城病院としても発足 事務代行は稲城村農業会が担当
	7月	稲城村健康保険組合及び同直営稲城病院などの事務及び管理財産などが、 農業会より村に引継がれ、稲城村立稲城病院となる
	10月	稲城村立稲城病院関係諸規定が制定

◆ 昭和24年～昭和45年

1949年(昭和24年)	11月	東京都民事部本部が稲城村に対して土地建物の解放を通知し、これにより病院建物5棟と、土地12421.2平方メートルが病院施設として拡充可能
1950年(昭和25年)	2月	炊事場、職員住宅、倉庫、渡廊下を新築
	8月	倉庫を改造して伝染病隔離病舎の建設
	12月	結核病棟新築計画により国に起債額2,000円の起債調書を提出
1951年(昭和26年)	11月	結核療養所建設事業承認申請を提出し認可され、これにより100床の結核病棟が承認



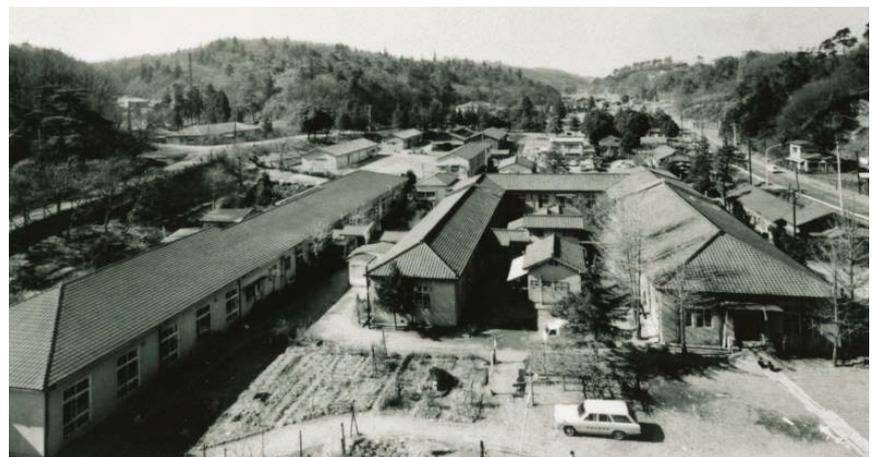
1952年(昭和27年)	4月	病床利用区分は一般病床15床、結核病棟は147床に変更し完成
1953年(昭和28年)	4月	看護婦宿舎新築
	—	坂浜診療所開設

1957年(昭和32年)	4月	町制施行に伴い稲城町国民健康保険直営稲城病院と改称
1960年(昭和35年)	2月	一般病床13床、結核病棟は140床に変更、歯科を廃止
	6月	一般病床33床、結核病棟は131床に変更
1961年(昭和36年)	6月	結核患者の漸減と一般患者の増加により、一般病床50床、結核病床140床に変更
1962年(昭和37年)	1月	整形外科を新設、調理室も改築
	7月	診療病棟の大改築工事が実施され、それを契機に一般病床57床、結核病床104床に変更 熱源もそれまでの薪炭から重油へと移行
1963年(昭和38年)	3月	老人病棟が新設され、それにより一般病棟の利用区分が改められ一般100床、結核60床に変更
1965年(昭和40年)	3月	救急病院の指定を受け、手術室を増築 新生児室新設もこの時施行され、一般病床98床、結核病床60床に変更
1968年(昭和43年)		町立国民健康保険稲城中央病院と改称 財政面では地方公営企業法の改正に伴い企業会計を導入

4月



翌年にかけて病院の将来にかかわる大きな出来事が発生
 ①武蔵野南線の建設による病院の一部を取り壊す必要性が生じた
 ②陸軍王子野戦病院の稲城への移転が計画
 こうした状況のもとで、新病院建設計画が実施



1969年(昭和44年)

4月

隣接する米軍基地の一部返還払下げを受け、病院移転新築工事が着工

◇ 昭和46年～平成元年

1971年(昭和46年)	2月	新病院完成 地下1階地上6階、一般病床181床、結核病床47床、合計228床の総合病院
		
	11月	市制施行に伴い稲城市立病院と改称
1975年(昭和50年)	12月	結核患者の減少を理由に、結核病床を6床とし一般病床を228床に変更
1977年(昭和52年)	11月	臓器別診療開始
1978年(昭和53年)	3月	検査棟増改築
1979年(昭和54年)	1月	東京都立北多摩看護専門学校実習学生実習開始
	3月	霊安解剖室増改築 附属坂浜診療所改築 総合病院名称使用承認
	6月	児童福祉施設設置許可(入院助産)
	8月	図書館増築
1980年(昭和55年)	7月	基準看護特二類承認
	12月	被爆者一般疾病医療機関指定
1981年(昭和56年)	1月	全身用コンピューター断層撮影装置(C・T)設置
	7月	重症者の収容及び重症者の看護の実施の承認(8床)
	10月	事務棟(管理課)新築
1983年(昭和58年)	8月	病床数236床に変更(未熟児2床)
1984年(昭和59年)	1月	医事課窓口にコンピューター設置
1985年(昭和60年)	3月	本館・霊安室通路上屋設置
	8月	マニホールド室設置

	11月	カルテ庫新築
1986年(昭和61年)	3月	リハビリ室増築
1987年(昭和62年)	7月	X線テレビ装置設置
1989年(平成元年)	12月	院内ポケットベル設置
◇ 平成2年～平成9年		
1990年(平成2年)	11月	当直体制充実(内科・外科・小児科・産婦人科)
1991年(平成3年)	1月	入院患者人工透析開始(6階病棟)
	2月	全身用コンピューター断層撮影装置(C・T)設置
	5月	日帰り人間ドック開始
	8月	基準看護特三類承認
	10月	人工透析施設設置
1992年(平成4年)	11月	外来患者人工透析開始
	4月	東京南看護専門学校教育実習開始 東京都立北多摩看護専門学校二年課程教育実習開始
	5月	救急用として4床許可される
	7月	自動再来受付機稼動
	10月	週休2日制実施
1993年(平成5年)	4月	職員給料表が東京都給料表に移行
	7月	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術実施及び施設基準適合承認
1994年(平成6年)	1月	血液検査システム導入
1995年(平成7年)	1月	多目的附属舎建設
	6月	新看護基準2:1A実施
	10月	旧看護婦宿舎、旧ポンプ棟、図書室、倉庫 解体
	11月	旧変電所、車庫、管理課事務室 解体
1996年(平成8年)	2月	講堂、霊安室、売店、理容室 解体
	3月	病院建設工事着工 プロバン庫、カルテ庫、休憩室、学生控室 解体
	4月	管理課内PC-LAN導入 夜間勤務等看護(I)b加算承認
	8月	非紹介患者初診加算1,100円導入
1997年(平成9年)	8月	東京都災害時後方医療施設に指定

◆ 平成10年～平成19年

1998年(平成10年)

病院建設工事竣工引渡し

3月



4月 麻酔科新設

5月 大動脈バルーンパンピング法施設基準適合承認
ペースメーカー移植術施設基準適合承認

7月 新病院開業

8月 作業療法Ⅱ施設基準適合承認

夜間看護(I)b加算承認
旧病院解体

9月



10月 経皮的冠動脈形成術・経皮的冠動脈血栓切除術・経皮的冠動脈ステント留置術施設基準適合承認
新看護2対1(A)加算承認

1999年(平成11年)

2月 病院ボランティア制度導入

6月 師長管理当直開始

7月 学生ボランティア制度導入、市内病診連携開始

2000年(平成12年)	10月	看護部外来当直体制から交替制へ変更	
	4月	医師人事考課制度導入 社団法人日本医療福祉建築協会の医療福祉建築賞受賞	
2001年(平成13年)	4月	午後専門外来の院外処方実施	
	6月	社団法人日本免震構造協会の日本免震構造協会賞作品賞受賞	
2002年(平成14年)	1月	財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価認定	
	3月	リハビリテーション室増改築工事竣工、HCU改修工事竣工	
2004年(平成16年)	3月	救急外来棟増改築工事・正面玄関前段差解消工事竣工・核医学診断装置設置	
	7月	救急救命士の気管挿管実習受け入れ開始(麻酔科)	
2005年(平成17年)	4月	患者給食調理業務一部委託開始	
2006年(平成18年)	4月	診療報酬改定により、一般病棟入院基本料10:1に変更	
	5月	診療録閲覧室設置、診療情報管理士を配置 自治体立優良病院として表彰される	
	9月	化学療法ミキシングルームを設置 マルチスライスCTを設置	
2007年(平成19年)	12月	薬剤科平日の夜間救急対応の延長(22時まで)	
	1月	財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価(V5.0)認定	
	4月	各病棟にクラークを配置	
	7月	DPC準備病院に手あげ	
	10月	薬剤科を薬剤部とし、休日・全夜間体制に変更 中待ち案内表示を各診療科に新設	
	11月	地域連携小児夜間診療事業開始(水曜日の午後7時から午後11時)	

◆ 平成20年～平成29年

2008年(平成20年)

- 1月 i(あい)バス正面玄関乗り入れ
- 4月 患者給食調理業務全部委託開始、看護部通し夜勤制度導入
- 8月 公立病院改革会議発足
- 10月 眼科を閉科、看護職復職支援事業開始
- 11月 電子カルテ開始(病棟)

2009年(平成21年)

- 1月 産科医療補償制度開始
- 2月 公立病院改革プラン策定
- 3月 電子カルテ開始(外来等)
- 4月 医事課に医療情報係を新設
- 7月 DPC制度導入(DPC対象病院)
- 8月 第1回「健康バンザイ!いなぎ講座」を開催



8月

- 11月 看護師宿舎及び自走式駐車場の解体
多目的附属舎2階の会議室等を陰圧室に改修

2010年(平成22年)

- 4月 基幹型臨床研修病院として初期研修医の研修を開始、眼科を再開
各病棟にクラークを配置、新駐車場共用開始



4月

2011年(平成23年)

- 7月 ケアボイス（病棟）運用開始
- 8月 第1回「オープンホスピタルデイ」を開催
- 10月 健診・外来棟の建設に着手
- 11月 ケアボイス（外来）運用開始
緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に参加（トリアージ訓練）
- 4月 一般病棟入院基本料7：1算定開始
医事課に地域連携係を新設
- 11月 財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価（V6.0）受審

2012年(平成24年)

- 1月 財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価認定
健診・外来棟建設工事竣工引渡し

2月



3月

- 理容室閉店
- 地域医療連携システム運用開始
- リニアック設置



4月

- 売店を拡張して開業

	5月	健診・外来棟開業	
	6月	健診・外来棟に院内保育室開室	
	7月	放射線治療開始	
	10月	健診・外来棟に病児・病後児保育室開室（稲城市福祉部）	
2013年（平成25年）	8月	第1回保健・医療まつり開催	
2014年（平成26年）	2月	軽油貯蔵施設設置	
	4月	日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定	
2015年（平成27年）	1月	在宅療養後方支援病院の届出	
2016年（平成28年）	3月	市立病院にて南多摩医療圏緊急医療救護訓練を実施	
	10月	3病棟の一般病棟入院基本料を10：1で算定開始	
	11月	多数負傷者受入訓練実施	
2017年（平成29年）	3月	「第三次稲城市立病院改革プラン」を策定し、健全な病院経営の継続を目指すとともに、経営形態の見直しとして、公営企業法の全部適用を採用する方針を決定	
	6月	財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）認定	

※本文中の写真の一部は、「写真で見る稲城今昔」より転載しました。

■ 病院の現況 ■



概要

1. 施設の概要 (本館及び 健診・外来棟)

位 置	稲城市大丸1171
敷地面積	20,432.25㎡
建物延面積	22,294.86㎡ (地上6階、地下1階、健診・外来棟含む)
第1駐車場	351台(障がい者用6台、救急用5台、公用車用4台、立体部分は4階+屋上階で328台)
第2駐車場	31台(障がい者用1台含む)

2. 診療科目

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・腎臓内科・外科・消化器外科・整形外科・眼科・脳神経外科・小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・精神科(入院患者のみ)

診療部門の特徴は、放射線治療のほか、CTやMRIなどによる各種検査も行っています。主な医療機器としては、直線加速装置(リニアック)、RI、3D画像処理装置、上部消化管ファイバースコープ、大腸ファイバースコープ、骨塩定量測定装置などです。

診療部門と健診部門では、使用する医療機器を分けています。

3. 診療指定

二次救急医療機関(東京都指定) 災害拠点病院(東京都指定)

4. 病床数

290床

5. 附属機関

健診センター・坂浜診療所

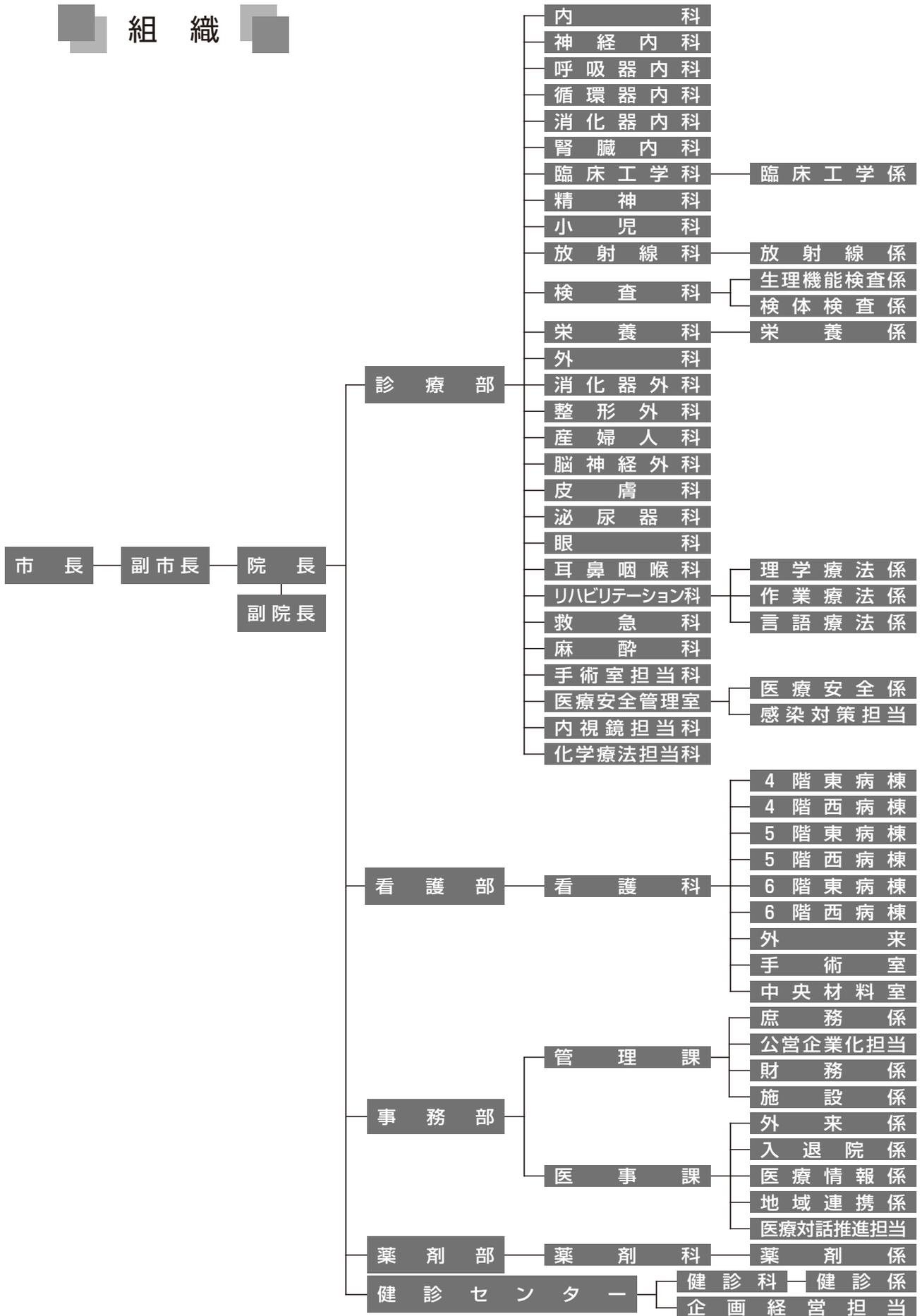
健診センターは、本館に隣接した健診・外来棟の1階にあります。特徴は空間だけではなく、使用する医療機器も診療部門と切り離されており、レディースフロアやリフレッシュラウンジなどアメニティを重視した健診専用の施設となっています。

人間ドックや専門ドック、健康診断などで万が一異常が発見されたときは、病院の診療部門で対応することができます。また、健診・外来棟の東側部分を利用した「オーエンス健康プラザ」と連携をした運動指導などの事業も行っています。

6. 関連病院等

関連病院	慶應義塾大学病院
連携医療機関	聖マリアンナ医科大学病院、杏林大学医学部付属病院、稲城市医師会、多摩市医師会

組 織



施設案内



地域医療の中核的役割を担う 公立病院を目指して

当院の隣は、もともと陸海軍の兵器や弾薬を作っていた造兵廠（ぞうへいしょう）があった場所で、この病院は、東京第二陸軍造兵廠多摩病院として、昭和15年4月に設置されました。

終戦後の昭和21年には、財団法人共栄会多摩出張所に監守が委託されましたが解散、その後、昭和23年に、当時事務を代行していた稲城村農業委員会から村に引き継がれ、稲城村立病院となりました。当時はまだ、診療を受ける人が少なかったため、収益が上がらない中での、地域医療の確保や地域住民の健康増進の取り組みへの出発となりました。

昭和40年に入ると、これまで多かった結核病床も減少し、救急病院の指定を受け、手術室の増築や新生児室新設など、次第に総合病院化の方向に進み始め、昭和43年には、町立国民健康保険稲城中央病院と改称しました。

その後、昭和46年の市制施行に伴い稲城市立病院となり、平成10年に現在の建物に改築され、地下1階、地上6階の免震構造となり、緑が多く療養環境にはとても適した病院として、現在に至っています。

当院は5疾病5事業を中心とした市内唯一の急性期を担う中核病院であり、稲城市の拠点病院としての位置付けを継続しながら、急性期医療を皆様に提供しております。

施設案内

	オーエンス健康プラザ・健診外来棟	本館	立体駐車場
6階		6階東病棟 46床 6階西病棟 49床 病棟食堂、談話コーナー、図書コーナー	
5階		5階東病棟 49床 5階西病棟 49床 病棟食堂、談話コーナー、図書コーナー	屋上階
4階		4階東病棟 49床 4階西病棟 48床 病棟食堂、談話コーナー、図書コーナー	4階
3階	太陽光パネル・屋上緑化	院長室、医局、看護部長室、管理課、 講義室、会議室、図書室、手術室、病歴室	3階
2階	温水プール アトリウム	泌尿器科 化学療法室 一般点滴室 院内保育室 講座室	渡り廊下
1階	トレーニングジム・スタジオ	健診センター (検査諸室) (リフレッシュラウンジ) (レディースフロアー) (事務室)	渡り廊下
地下	放射線治療室 健診科事務室、機械室	薬剤部、中央材料室、栄養科、厨房 管理課(施設)、中央監視室 免震装置(積層ゴム、ダンパー)	1階 管理室

* オーエンス健康プラザは、稲城市が指定管理者を定めて運営しています。

* 市の子育て事業として、院内保育室の隣りに、病児保育所を開設しています。

施設案内

二次医療を全面的にカバーする医療を提供できるよう、高度な医療機器を導入しています。

治療



リニアック



血管造影室



救急処置室



分娩室



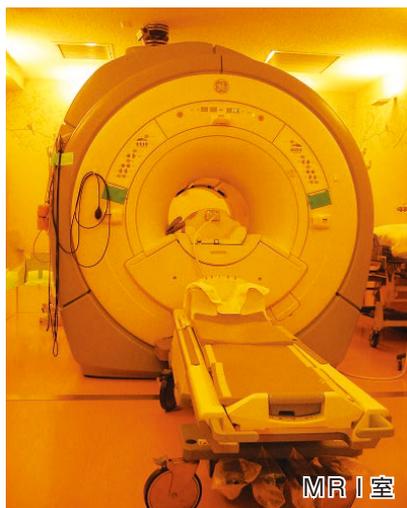
手術室



運動療法室

医療スタッフの高度な知識と技術によって、地域の中核病院として、ますます多様化・高度化する医療ニーズに応えます。

検査



MRI室



CT室



X線テレビ室



X線撮影室



乳腺エコー室

健診センターは、CT・MRIなどの検査機器を健診専用に導入したほか、人間ドック受診者専用ラウンジの設置など、健診専門施設として安全で快適なサービスをご提供いたします。また、レディースフロアも設置しています。



リフレッシュラウンジ室

施設案内

● 健診・外来棟（健診センター）について

健診・外来棟（健診センター）は、稲城市民を中心に地域の皆様の健康を増進するために、平成24年5月に開館しました。

病気にさせない病院の実現をコンセプトとして、最新の予防医学に力を入れ、受診される方一人ひとりの健康状態やニーズに合った検査を行い、健康リスクの早期発見を目指すものです。また、レイスフロアやリフレッシュルームを設置して健診部門の快適さを実現しました。隣接する「オーエンス健康プラザ」と生活習慣病の対策や妊婦の体力増進に取り組むとともに、人間ドックや健康診断などで、万が一異常が発見されたときは、市立病院の診療部門で対応します。

運営理念

安全で信頼される予防医療を提供することにより地域の皆様の健康づくりに貢献するとともに、健全経営に努め、永きにわたりその役割を果たし地域の皆様に親しみやすく愛され続ける施設を目指します。

基本方針

1. 私たちは、安全で質の高い健診サービスを提供いたします。
2. 私たちは、真の予防医療たる健診を実践いたします。
3. 私たちは、受診される皆様の権利を尊重いたします。
4. 私たちは、受診される皆さまが利用しやすい施設づくりを実践いたします。
5. 私たちは、稲城市立病院や稲城市健康プラザ等と連携し総合的な予防医療を目指します。

● 高精度の医療機器

幅広いニーズにお応えするために、高度な医療診断装置をワンフロアに配置しました。



● 人間ドック専用待合室



フリードリンク、マッサージチェアを完備。四季を眺めながら、ゆったりおくつろぎください。

● 女性専用フロア

医師を含めてスタッフはすべて女性。女性特有の検診を安心して受けていただけます。



フロアのご案内



健診センター入口

● 「オーエンス健康プラザ」について

「オーエンス健康プラザ」は、市民の「からだ」と「こころ」の健康増進を目的に、健診・外来棟とともにオープンしました。室内温水プールやトレーニングジム、スタジオなどを備え、体力に自信のない方や初心者でも専門スタッフの指導のもと、安心して健康づくりに取り組めます。



主な取り組み

● 稲城市立病院改革プラン

平成19年に、総務省から「公立病院改革ガイドライン」が示され、『稲城市立病院改革プラン』を策定しています。現在までに、第三次プランまで策定しています。

● 公開講座・教室の開催

● 生活習慣病教室・健康バンザイ!いなぎ講座

医師をはじめとする医療スタッフが病気について、健康講座や健康教室を開催し、各疾患についてや健康生活へのヒント等をわかりやすくお話しします。



● 地域医療連携への取り組み

● 稲城市立病院地域医療連携ネットワーク

患者さんのプライバシー保護を図りながら、地域の医療機関と当院の電子カルテやCT、MRIの画像データなどを共有します。患者さんは地域で一貫した医療を受けられます。

● 小児夜間・休日診療

市内に開業している小児科医のご協力をいただき、「地域連携 小児夜間・休日診療」を行っています。地域における小児夜間・休日診療体制の確保を図るものです。

● セカンドオピニオン外来

現在かかっている主治医の診断や治療方針について、他の医師の意見を求め、患者さんが納得のうえで、治療方針を選ぶものです。

● 人材育成・採用への取り組み

● 稲城市立病院初期臨床研修プログラム

日常診療で遭遇する頻度の高い症状・疾患を中心に研修をおこなうことで、一般臨床医として必要な基礎的知識・技術・態度を身につけ、そのうえで専門領域・予防医学に興味を持つことを目標とします。

● 院内教育（看護師）

質の高い医療サービスの担い手を育成します。

● 公舎制度

当院で市内の賃貸住宅を借り受け、家賃を負担します。

● 奨学生制度

看護師を養成する学校等に在学する方に、奨学金を貸与します。

● 環境配慮への取り組み

● 焼却熱の有効利用

多摩川衛生組合（ごみ焼却処理施設）のごみ焼却の余熱を、冷暖房等のエネルギー源として有効活用しています。

● 地下水の有効利用

病院地下から湧き出ている地下水をポンプで汲み上げ、トイレの洗浄水や冷暖房の補給水として利用しています。



● 入院患者様への配慮

● 図書コーナーの設置

入院患者さんのために、市立図書館の職員が来院し、図書の貸し出しサービスをおこなっています。



● 行事食と季節のメニュー

お正月やひな祭りなど暦上の行事や季節を感じていただけるよう、旬のメニューを提供しております。



（写真は出産後祝善）

● 強化磁器製の食器の使用

● 産科関連講座

● 産後クラブ（産後ヨガでリフレッシュ）

親子で行う産後ヨガは、妊娠・出産で頑張った体と心を癒し労いながら、ママ同士の交流を楽しむ時間です。

● 助産外来

妊婦健診と週数に応じた保健指導を行い、バースプランや育児について一緒に考えていきます。

● マタニティヨガ

（株）オーエンス協賛。妊娠中や出産、産後の体力維持に向けたきっかけづくりとして、また妊婦さん同士の情報交換の場として。

● 助産師の出張講座

「性に関する健康教育講座」を行います。

● 医療介護連携総合窓口

介護に不安があっても相談できる場所がなく、どこに相談してよいか悩んでいる方がお気軽に相談できる窓口です。



● ボランティアの活用

職員と協力して、自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供していただく方たちです。

● 稲城市赤十字奉仕団

長きにわたり、裁縫奉仕活動等を通じて病院運営を支えていただいております。



■ あ ゆ み ■



歴代幹部職員

院長

黒田	要
江尻	宏二
村野	廉一
小幡	博夫
兼平	博敏
森本	正卓
宮崎	義爾
会田	義徳
服部	光男
和田	孝雄
小泉	和正
一條	眞琴
北井	啓勝
松崎	章二

副院長

堀江	識
服部	光男
和田	孝雄
小泉	和正
磯田	功司
一條	眞琴
北井	啓勝
松崎	章二
伊従	正博
山内	健二
水口	英彦
齋藤	淳一

参事

石田	堅一
栗原	英二

診療部長

石田	吉享
佐藤	次良
鎌野	秀嗣
渡辺	太郎
松崎	二博
伊従	正博
大山	正恵
山水	内健
齋藤	英彦
河原	淳一
崎	宏雄

総看護婦長／部長

作本	静江
小水	林時子
鈴野	よね
西木	憲子
山野	康子
須本	節子
栗原	光サキ
中野	実子
堤崎	洋枝

事務長

安井	忠夫
加藤	政治
榎本	益治
芦川	銀次郎
福島	賢三
原島	幸重
針生	光俊
小池	昭司
伊藤	登男
川久保	康明
渡邊	知明
三村	謙二
風間	克智
岡野	克哉

薬剤部長／科長

齋藤	淳一
水口	英彦
内藤	正彦
郷木	滋子
亀山	邦子
柴田	行秀
小山	敏保
一柳	博美

健診センター長

北井	啓勝
松崎	章二

放射線科室長／技師長

末永	昭雄
田中	孝美
北川	重信
穴戸	敏彦

検査科室長／技師長

多田	雄一
拜田	隆治
内藤	政次
中村	秀樹
関口	仁

リハビリテーション科技師長

栗田	修司
松永	潤

臨床工学科／技師長

堀口	広
----	---

統計 / 経営状況

経営状況

【年度別経営収支状況】

(単位：千円)

科目	年度	昭和46年	昭和52年	昭和57年	昭和63年	平成元年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
病院事業収益		379,797	1,424,187	2,131,896	2,861,342	2,941,488	4,174,739	5,777,398	6,058,436	5,806,727	6,478,686	7,090,858
医業収益		324,560	1,281,997	1,769,867	2,465,402	2,574,334	3,434,223	4,325,597	5,008,569	4,778,992	5,353,992	5,866,780
入院収益		205,702	890,903	1,153,969	1,319,387	1,319,355	1,842,949	2,485,213	3,230,890	3,086,651	3,402,723	3,550,901
外来収益		99,008	360,170	557,774	1,057,251	1,169,493	1,483,733	1,579,363	1,448,490	1,328,473	1,470,569	1,714,869
その他		19,850	30,924	58,124	88,764	85,486	107,541	261,021	329,189	363,868	480,700	601,010
医業外収益		55,237	142,190	362,029	395,940	367,154	601,128	1,451,338	1,021,801	1,004,994	1,109,065	1,216,938
一般会計補助金		47,841	50,000	210,000	176,250	133,338	287,649	1,025,308	599,000	606,880	705,290	671,685
その他		7,396	92,190	152,029	219,690	233,816	313,479	426,030	422,801	398,114	403,775	545,253
特別利益		0	0	0	0	0	139,388	463	28,066	22,741	15,629	7,140
病院事業費用		379,649	1,429,508	2,081,515	2,758,942	2,991,652	4,102,571	5,819,866	5,882,877	5,857,286	6,932,881	7,104,232
医業費用		364,635	1,398,638	2,038,438	2,734,587	2,934,318	4,008,295	5,154,282	5,579,604	5,569,698	6,657,052	6,781,770
給与費		230,177	844,008	1,212,011	1,521,417	1,684,410	2,230,851	2,730,414	2,973,334	2,985,685	3,600,021	3,848,245
材料費		82,648	420,848	579,283	858,944	888,976	1,174,559	1,220,513	992,738	876,748	846,064	1,032,275
経費		34,644	103,911	183,897	295,701	303,372	505,963	774,220	1,152,788	1,273,534	1,480,623	1,350,212
減価償却費		16,341	26,229	59,687	54,398	51,077	90,262	416,098	440,586	418,518	715,741	533,719
その他		825	3,642	3,560	4,127	6,483	6,660	13,037	20,158	15,213	14,603	17,319
医業外費用		15,014	27,477	42,081	20,065	50,143	90,141	311,881	288,259	267,092	252,635	294,357
支払利息		12,163	16,310	30,401	15,402	14,014	13,165	193,454	169,649	147,017	116,643	89,647
その他		2,851	11,167	11,680	4,663	36,129	76,976	118,427	118,610	120,075	135,992	204,710
特別損失		0	3,393	996	4,290	7,191	4,135	353,703	15,014	20,496	23,194	28,105
純利益		148	-5,321	50,381	102,400	-50,164	72,168	-42,468	175,559	-50,559	-454,195	-13,374
累積剰余・欠損金		-235	731	57,689	174,944	14,780	72,168	187,538	375,559	-171,533	-1,671,443	-578,933

【資本的収入及び支出】

(単位：千円)

科目	年度	昭和46年	昭和52年	昭和57年	昭和63年	平成元年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
資本的収入		5,885	66,660	60,403	16,492	56,665	155,885	134,002	430,751	68,412	118,682	248,639
企業債		0	54,000	55,000	0	0	86,900	0	378,100	0	0	144,000
一般会計出資金		5,550	10,000	0	13,750	56,662	65,599	120,250	0	0	50,000	30,000
その他		335	2,660	5,403	2,742	3	3,386	13,752	52,651	68,412	68,682	74,639
資本的支出		17,933	108,121	103,683	69,183	110,143	207,820	385,912	755,667	516,252	517,700	704,990
企業債償還金		3,193	4,686	36,651	20,624	19,096	43,649	61,656	239,916	301,415	406,209	413,113
建築改良費		13,256	100,135	65,360	46,339	89,511	159,615	324,256	515,751	211,437	103,091	286,027
その他		1,484	3,300	1,672	2,220	1,536	4,556	0	0	3,400	8,400	5,850

【貸借対照表】

(単位：千円)

科目	年度	昭和46年	昭和52年	昭和57年	昭和63年	平成元年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
固定資産		592,012	771,811	945,043	983,327	1,013,875	1,254,244	10,609,435	9,245,018	7,650,865	8,327,538	6,103,216
有形固定資産		589,207	761,722	936,372	976,341	1,008,869	1,246,974	10,607,832	9,243,415	7,645,012	8,311,885	5,863,463
土地		78,388	78,388	78,386	77,929	77,929	74,855	74,560	74,560	74,560	74,560	74,560
建物		444,124	583,425	659,971	639,706	648,585	680,307	8,386,198	7,370,718	5,990,175	6,178,070	4,751,799
構築物		1,716	3,635	2,086	3,071	2,770	2,087	68,847	75,681	73,969	3,679	1,878
器械及び備品		63,529	93,444	194,886	254,557	276,971	457,377	2,067,477	1,710,107	1,461,185	2,045,869	735,750
車両		600	1,980	193	228	1,764	2,592	1,550	3,149	2,293	507	359
リース資産		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289,917
その他		850	850	850	850	850	1,482	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200
建設仮勘定		0	0	0	0	0	28,274	0	0	33,630	0	0
無形固定資産		324	325	325	470	470	470	1,603	1,603	1,603	1,603	1,799
投資その他		2,481	9,764	8,346	6,516	4,536	6,800	0	0	4,250	14,050	237,954
流動資産		53,788	232,845	388,639	627,777	647,101	899,646	1,995,948	4,679,463	4,527,255	1,356,922	2,200,831
現金預金		261	11,599	103,279	217,148	223,759	288,762	1,186,676	3,859,150	3,714,861	371,139	1,123,120
未収金		50,042	214,394	274,680	397,357	415,565	596,083	758,015	777,374	774,191	959,156	1,050,986
貯蔵品		3,485	6,852	10,680	13,272	7,777	14,801	51,257	42,939	38,203	26,627	26,725
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰延勘定		0	0	0	0	2,315	9,809	298,764	256,099	206,710	267,809	0
資産合計		645,800	1,004,656	1,333,682	1,611,104	1,663,291	2,163,699	12,904,147	14,180,580	12,384,830	9,952,269	8,304,047
固定負債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,954,867
流動負債		22,819	140,423	204,479	184,522	251,358	304,686	569,469	774,704	536,701	534,853	1,402,249
企業債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	452,134
未払金		21,305	139,001	202,977	182,785	249,169	301,158	563,758	772,976	467,240	531,603	664,411
その他流動負債		1,514	1,422	1,502	1,737	2,189	3,528	5,711	1,728	69,461	3,250	285,704
繰延収益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141,430
資本金		417,260	615,331	811,030	743,072	799,734	981,670	10,507,020	9,971,097	9,662,143	8,753,225	3,375,234
自己資本金		230,452	325,227	356,027	530,402	606,160	730,191	1,253,920	2,008,634	3,115,714	3,375,234	3,375,234
借入資本金		186,808	290,104	455,003	212,670	193,574	251,479	9,253,100	7,962,463	6,546,429	5,377,991	0
剰余金		205,721	248,902	318,173	683,510	612,199	877,343	1,827,658	3,434,779	2,185,986	664,191	-569,733
資本剰余金		204,156	226,606	258,918	357,625	355,575	422,551	1,327,348	2,340,949	2,225,745	2,335,634	9,200
利益剰余金		1,565	22,296	59,255	325,885	256,624	454,792	500,310	1,093,830	131,774	0	0
欠損金		0	0	0	0	0	0	0	0	171,533	1,671,443	578,933
負債資本合計		645,800	1,004,656	1,333,682	1,611,104	1,663,291	2,163,699	12,904,147	14,180,580	12,213,297	8,280,826	7,725,114

職員状況

(単位：人)

科目	年度	昭和46年	昭和52年	昭和57年	昭和63年	平成元年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年
医師		10	16	23	23	23	26	30	37	42	42	47
看護師		23	46	57	67	76	81	140	166	146	160	179
准看護師		27	42	42	43	40	45	33	15	6	3	3
薬剤師		4	5	5	7	6	7	7	8	9	9	12
医療放射線技師		3	4	5	4	5	6	8	7	9	15	16
臨床工学技士		0	0	0	0	0	2	2	2	2	3	3
臨床検査技師		5	10	11	11	11	11	10	10	11	15	15
理学療法士		0	0	1	1	2	2	3	6	6	6	6
作業療法士		0	0	0	0	0	0	2	3	4	4	4
言語聴覚士		0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
管理栄養士		3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
診療情報管理士		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
あん摩マッサージ師		2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0
視能訓練士		0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1
看護補助員		23	26	25	13	14	14	8	2	0	0	0
行事務職		17	23	23	18	18	20	21	18	17	21	24
政技術職		9	6	5	3	3	1	1	1	0	0	0
職給食調理員		12	12	12	12	12	13	14	10	0	0	0
その他作業員		3	2	2	3	3	2	2	2	0	0	0
合計		141	197	217	210	218	236	287	293	256	285	316

統計/患者数

患者状況

【入院患者状況（年間延べ数）】

(単位：人)

科別	昭和46年		昭和52年		昭和57年		昭和63年		平成元年		平成5年		平成10年		平成15年		平成20年		平成25年		平成29年	
	患者延数	患者一日平均																				
内科	41,312	112.9	26,937	74.0	23,266	63.7	24,797	67.9	22,293	61.1	25,235	69.1	32,495	89.0	34,596	94.5	35,075	96.1	27,685	75.9	33,392	91.5
消化器科	-	-	4,436	12.2	9,660	26.5	6,066	16.6	7,190	19.7	2,281	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	0	0.0	0	0.0	198	0.5	0	0.0	0	0.0	1,157	3.2	673	1.9	149	0.4	78	0.2	26	0.1	400	1.1
小児科	395	1.1	1,234	3.4	2,747	7.5	3,670	10.0	5,850	16.0	6,100	16.7	5,661	15.5	7,724	21.1	5,058	13.9	4,688	12.8	5,338	14.6
外科	5,525	15.1	6,814	18.7	1,934	5.3	3,059	8.4	2,642	7.2	7,323	20.1	12,344	33.8	11,819	32.3	10,527	28.8	10,053	27.5	10,963	30.0
整形外科	13,658	37.3	9,194	25.2	8,469	23.2	8,636	23.7	8,232	22.6	11,787	32.3	11,494	31.5	9,633	26.3	7,419	20.3	11,880	32.5	9,872	27.0
リハビリテーション科	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2,088	5.7	3,578	9.8	12	0.0	0	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科	30	0.1	44	0.1	357	1.0	858	2.3	1,070	2.9	1,214	3.3	1,935	5.3	1,503	4.1	1,672	4.6	1,843	5.1	1,448	4.0
皮膚科	107	0.3	2,354	6.4	20	0.1	6	0.0	7	0.0	0	0.0	2,488	6.8	3,754	10.3	4,779	13.1	3,596	9.9	1,343	3.7
泌尿器科					2,367	6.5	1,854	5.1	1,422	3.9	4,261	11.7	4,123	11.3	4,369	11.9	3,747	10.3	3,288	9.0	3,377	9.3
産婦人科	7,483	20.4	10,579	29.0	10,281	28.2	9,779	26.8	9,235	25.3	8,885	24.3	10,809	29.6	15,107	41.3	14,512	39.8	11,760	32.2	7,837	21.5
脳神経外科	-	-	6,330	17.3	8,175	22.4	3,132	8.6	4,004	11.0	1,731	4.7	2,283	6.3	2,846	7.8	3,463	9.5	77	0.2	1,122	3.1
放射線科	-	-	-	-	2	0.0	27	0.1	16	0.1	4	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神科	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
坂浜診療所	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	68,510	187.2	67,982	186.3	67,476	184.9	61,884	169.5	61,961	169.8	69,978	191.7	86,393	236.7	95,078	259.8	86,342	236.6	74,896	205.2	75,092	205.7

【外来患者状況（年間延べ数）】

(単位：人)

科別	昭和46年		昭和52年		昭和57年		昭和63年		平成元年		平成5年		平成10年		平成15年		平成20年		平成25年		平成29年	
	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均	患者延数	患者一日平均
内科	22,816	76.1	27,128	91.4	31,691	106.7	39,293	133.2	40,445	137.1	51,799	212.4	54,466	222.3	55,727	226.5	48,632	200.1	44,320	181.6	55,557	227.7
消化器科	-	-	291	1.0	7,718	26.0	5,804	19.7	6,325	21.4	3,425	14.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	424	1.3	1,775	6.0	5,973	20.1	6,551	22.2	7,082	24.0	12,171	49.9	9,827	40.1	7,015	28.5	3,128	12.9	4,406	18.0	6,948	28.5
小児科	6,807	22.7	11,000	37.0	10,654	35.9	18,301	62.0	20,684	70.1	16,725	68.5	14,000	57.1	17,064	69.4	12,561	51.7	12,678	52.0	10,311	42.3
外科	7,670	25.6	7,704	25.9	5,129	17.3	7,450	25.3	8,244	28.0	11,528	47.3	14,944	61.0	12,212	49.6	11,529	47.4	9,437	38.7	10,725	44.0
整形外科	13,021	43.4	12,510	42.1	11,666	39.3	16,599	56.3	17,556	59.5	16,877	69.2	18,235	74.4	20,040	81.5	15,220	62.6	18,196	74.6	19,482	79.8
リハビリテーション科	-	-	-	-	3,919	13.2	7,538	25.5	7,104	24.1	5,743	23.5	3,894	15.9	6,965	28.3	3,235	13.3	4,797	19.7	3,646	14.9
耳鼻咽喉科	3,359	11.2	2,012	6.8	2,583	8.7	18,016	61.1	22,433	76.0	16,334	66.9	19,343	79.0	11,381	46.3	10,074	41.5	12,746	52.2	12,121	49.7
皮膚科	3,362	11.2	5,458	18.4	3,273	11.0	4,382	14.9	3,803	12.9	3,930	16.1	7,666	31.3	17,912	72.8	16,795	69.1	17,874	73.2	11,426	46.8
泌尿器科					2,304	7.7	4,874	16.5	5,048	17.1	6,292	25.8	6,685	27.3	10,572	43.0	11,559	47.6	12,953	53.1	13,656	56.0
産婦人科	14,549	48.5	14,356	48.3	17,845	60.1	17,402	59.0	19,340	65.6	15,976	65.5	11,727	47.9	19,433	79.0	15,541	63.9	9,026	37.0	9,891	40.5
脳神経外科	-	-	2,384	8.0	4,607	15.5	3,941	13.4	4,095	13.9	3,055	12.5	4,628	18.9	5,395	21.9	5,177	21.3	4,748	19.5	3,242	13.3
放射線科	-	-	-	-	449	1.5	37	0.1	52	0.2	178	0.7	256	1.1	549	2.2	478	2.0	1,949	8.0	2,556	10.5
精神科	-	-	-	-	568	1.9	1,389	4.7	1,416	4.8	1,383	5.7	1,726	7.0	2,112	8.6	1,071	4.4	741	3.0	596	2.4
坂浜診療所	6,213	20.7	4,195	14.1	2,918	9.8	3,996	13.5	4,318	14.6	3,743	15.3	3,066	12.5	2,239	9.1	2,063	8.5	3,228	13.2	2,745	11.3
合計	78,221	260.7	88,813	299.0	111,297	374.7	155,573	527.4	167,945	569.3	169,169	693.3	170,463	695.8	188,616	766.7	157,063	646.3	157,099	643.8	162,902	667.6

稲城市立病院70周年史

発行日 平成31年1月

発行・編集 稲城市立病院

〒206-0801 東京都稲城市大丸1171番地

TEL 042-377-0931(代) FAX 042-379-1310

ホームページ <http://www.hospital.inagi.tokyo.jp/>

印刷・製本 福川印刷株式会社

〒194-0035 東京都町田市忠生3-6-5

TEL 042-791-2411 FAX 042-789-7313